



令和5年度 校長だより

令和5年4月7日(金)

春日の風Ⅱ

No. 1

文責 松下 義彦

新年度のスタートにあたり

みなさん、こんにちは。令和5年度が今日からスタートします。昨年度の校長だより「春日の風」に引き続き、今年度は「春日の風Ⅱ」として、生徒のみなさんの頑張りの思いを伝えていきたいと思っています。まずは、始業式で生徒のみなさんにお話した内容を掲載します。本年度、みなさんに頑張ってもらいたいことを書いていますので、一人一人が意識して、様々な活動に取り組んでください。

【始業式での話】

みなさん「おはようございます。」

令和5年度が今日から始まります。

3年生は、いよいよ本校を代表する最上級生になります。この3年間コロナ禍の中、思うようにできなかった学校行事も制限が解け、活動の幅も広がるのではないかと考えています。そうすれば、体育会、中体連や文化祭などたくさんの行事等のリーダーとして活躍できる場面が増えます。3年生には、真のリーダーとしていろいろな場面でみんなに感動や達成感を味わわせてくれる人になって欲しいと思っています。

2年生は、中堅学年として12日に入学してくる新1年生を様々な活動で引っ張っていく学年になります。今までのように上級生に頼るだけの気持ちではなく、学習でも運動でも部活動でも自分から積極的に動き、後輩から頼られる先輩になって欲しいと思っています。

2・3年生ともに言えることは、先輩になるということは何も偉くなるということではありません。それだけ後ろに着いてくる後輩の責任を背負うことになるのです。言葉だけではなく、行動で後輩を引っ張っていくそんな先輩になってください。

また、3月に話したように、本年度から学校のシステムを大きく変えます。学習について今まで以上に自主性が求められます。「やらされる学習」から「自らやる学習」への転換をお願いします。

そこで、新学期を迎えるにあたって、次の4つの目標を持ってください。

一つ目は「**チャレンジ**」、何事にも前向きに挑戦して欲しいということです。

やる前から「できるかな」「できないかな」と考えるのではなく、まずはいろんなことをやって欲しい「チャレンジ」して欲しいと思っています。

二つ目は、「**チェンジ**」、今の自分を見つめて自分をよい方向に変化させて欲しいと思っています。

人は、他の人と違う行動をすると、たとえそのことが良いことでも自信がなくなってやっぱり周りの人と同じ行動をしてしまいます。しかし、周りから「素晴らしいね」「それっていいことだよ」と声をかけられると自信を持って行動できるようになります。『**他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる**』という言葉があります。そんな何事にも「チャレンジ」し自分を「チェンジ」できる人になって欲しいと思っています。

三つ目は、「**素直な心**」を持って欲しいということです。

春日中学校は600人近くの生徒が一日を生活しています。その一人ひとりが勝手なことやわがままなことをしていても楽しい学校・住みやすい学校にはなりません。自分のことだけを主張するのではなく、周りの人を嫌な気持ちにさせない言葉や行動、他の人が言っていることに耳を傾ける態度、人のいろいろなことを受け入れる大きな心。そんな「素直な心」を持った人になってください。

四つ目は「**コミュニケーション**」を大切にしてください。

先生や仲間、親と話すことも大切です。しかし、まずは「あいさつ」です。地域や保護者から、さらには来校者からも「春日中の挨拶は素晴らしいですね。」と言われる学校になって欲しいと思っています。温かいあいさつができる学校にしましょう。

最後に、今、新しい学年・学級になり、どんな学級だろう、どんな友達ができるだろうと不安ばかりだと思えます。でも、先生が言いたいことは、前を見て進んでくださいということです。昨年度が良かった、前のクラスが良かったと悔やんでも仕方ありません。今からこの学年を学級をどのようにするのは、君たち次第です。こんな学年にこんな学級にしたいと夢を持って、様々な活動に取り組んでください。

「**為せば成る ～『強い意志』と『あきらめない心』**」で1年間、頑張っていきましょう。

